

**重点課題**

【課題1】 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する。(設問2四) C 読むこと 必要な情報を満たして要約することができなかった児童が28.6%であった。文章と図を結び付けて読むことができていなかった。

【課題2】 目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。(設問3二) B 書くこと 反対する理由を明確にしなが、書くことができなかった児童が23.8%であった。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）**

【課題1】 必要な情報をいろいろな資料から見付ける力や複数の情報と関連付けて文章にまとめる力が身に付くような学習を仕組む。その際、社会科など他教科と関連させて取り組む。

【課題2】 目的や意図に応じて説明する文章を書く場を設け、文の構成や機能を生かし、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力を身に付けさせる。  
意見文を書く場合は、自分の考えを明確にしてから理由や根拠を挙げて説明できるようにスピーチと関連させて取り組む。

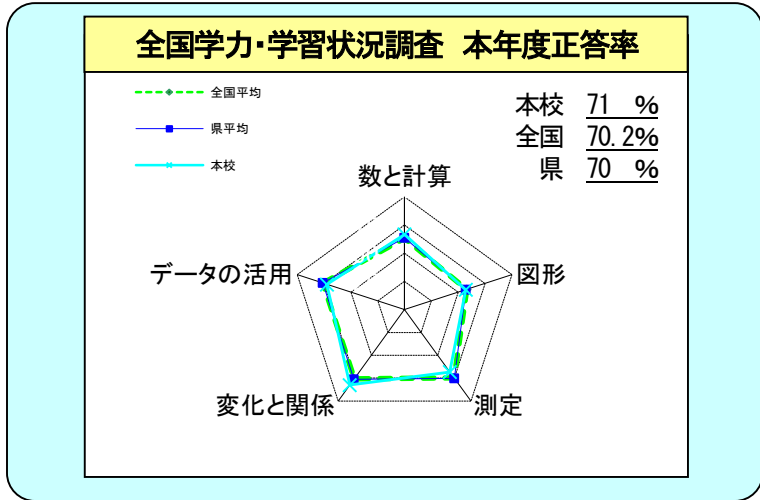
※ 小中一貫した取組については、言語の基本的な知識を定着させ、目的や場面に応じて、全体の構成を捉え、条件合わせて、考えをまとめて書く活動に重点を置く。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年学期末テスト	全学年標準学力調査	5年生全国学力テスト	全学年学年末テスト
目標値				80%	80%	70%	80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年学期末テスト	全学年標準学力調査	5年生全国学力テスト	全学年学年末テスト
目標値				80%	80%	70%	80%
実施後数値							

来年度に向けて



**重点課題**

【課題1】 図形の計量について、図形を構成する要素などに着目し、図形の構成の仕方を捉えて、筋道を立てて説明する。(設問2(3)) 図形 高さを誤って捉えている児童が19%であった。

【課題2】 帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述する。(設問3(4)) データの活用 「あてはまる」と答えた人の割合の違いが一番大きい項目を選ぶことはできているが、必要な言葉を使って割合を答えることができていない児童が19%であった。

**重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）**

【課題1】 三角形や平行四辺形の底辺と高さの関係の理解を確実にし、求積のためにどの部分の長さを測る必要があるかを考えたり、求め方を筋道を立てて説明したりする活動を設定する。

【課題2】 帯グラフから複数のデータについての項目の割合を比較し、データの特徴を捉え、表現する活動を設定する。

※ 小中一貫した取組については、単位に注目して数量の関係を捉え、変化の特徴や問題解決の方法を「図・表・式・グラフ」などの数学的表現を用いて表現したり、表現されているものを読み取って考えたりする活動に重点を置く。

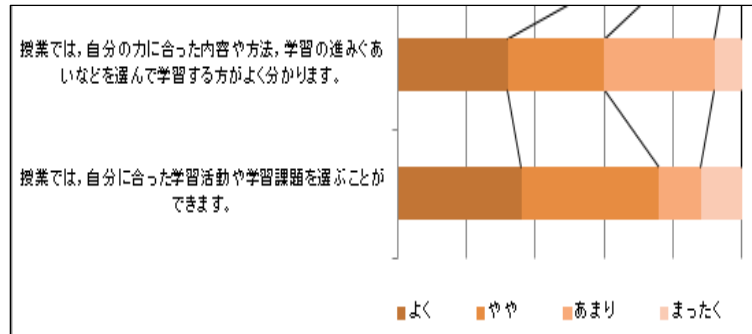
【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年学期末テスト	全学年標準学力調査	5年生全国学力テスト	全学年学期末テスト
目標値				低85% 中高80%	75%	70%	低85% 中高80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法				全学年学期末テスト	全学年標準学力調査	5年生全国学力テスト	全学年学期末テスト
目標値				低85% 中高80%	75%	70%	低85% 中高80%
実施後数値							

**来年度に向けて**

## 質問紙調査（全国学力・学習状況調査：児童質問紙調査）（児童生徒学習意識等調査：児童質問紙調査）

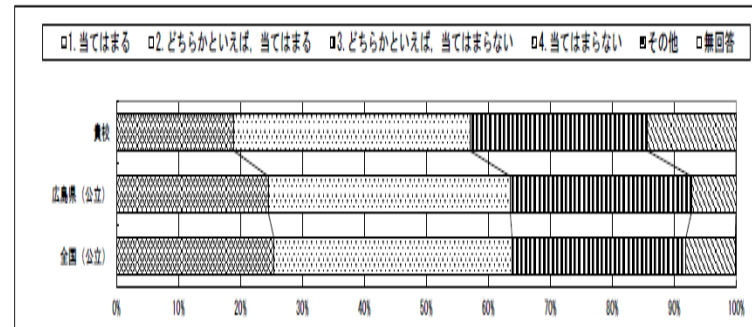
## (1) 生活・学習



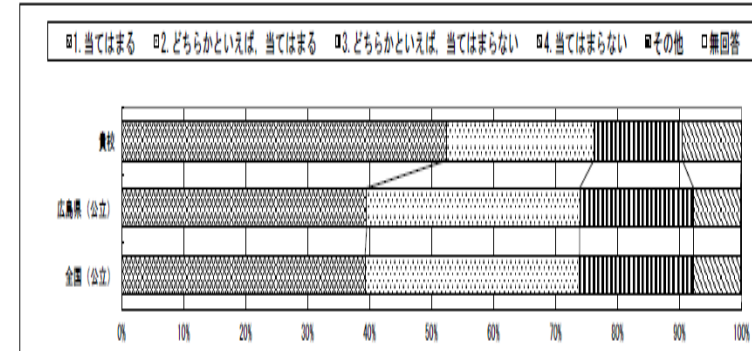
	児童の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「授業では、自分の力に合った内容や方法、学習の進みぐあいなどを選んで学習する方がよくわかる。」ことの肯定的評価が60%だった。全国平均が、79.1%であることから、全国とは約20%低くなっている。	めざすゴールを明確にし、そこに向かって、多様に解き進める学習形態を確立させていく。その際、タブレット等を使って考えを提示したり、交流したりすることを通して、多様な考えに触れ、自分で選択する力を身につけさせていく。	3～6年	肯定的評価80%	児童アンケート調査	2月	

## (2) 教科

国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか。



算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか。



	児童の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施後数値
全国・学習意識等	「国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり必要に応じて質問したりしていますか」に対する肯定的評価57%となった。	国語科の授業において、多くの文章を繰り返し読ませて優れた表現に触れさせたり、感覚を養ったりする。目的意識のある課題を設定し、グループやペアでの学習を多く取り入れ、聞き手は話し手の考えと比較しながら自分の考えをまとめたり質問したりさせる。	3～6年	肯定的評価70%	児童アンケート調査	2月	
全国・学習意識等	「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか」に対する肯定的評価76.2%となった。	算数科だけでなく、他教科の学習や総合的な学習でも算数で学習したことを活用する場面を増やす。	3～6年	肯定的評価85%	児童アンケート調査	2月	